

寝屋川市駅前に 新しい図書館の開設が決定

2年前の大阪府北部地震で閉館した市総合センター内の中央図書館の移転が、6月市議

会で決定された。令和3年8月、アドバンスねやがわ1号館4階に開

設予定。おとな図書館とこども図書館が、寝屋川市駅前に併設される計画だ。

おとな図書館は、旧来より広い閲覧スペースを持ち、幅広いジャン

駅前図書館(キャレル)は、こども図書館に特化される。キャレルは

駅直結の図書館として利用者も多く、こどもの読



キャレル内の子供向けおはなししつ

ルの図書を配架し、調べ物サポートサービスの充実を図ることによって、学生の学びや憩いの場として、また、働く世代やシルバー世代が日常的に利用できる読書空間を提供する。

アドバンスねやがわ2号館3階の

書活動が評価され文部科学大臣から表彰されるなど、質の高いサービスを提供してきた。その活動をベースに、幼児・児童図書「トナー」を拡充し、子どもと保護者のニーズに応える運営をさらに追求する。

ちなみに、市民一人あたりの図書貸出冊数(2017年度)は寝屋川市4・6冊に対し隣

の枚方市は8・5冊、府内平均は6・3冊となっている。中央図書館長の西村さんは「図書館をもっと身近なものにして、読書に親しむ市民を増やしたい」と話す。

6月議会では、議員からおとな図書館とこども図書館を分ける不都合について、市の考えを問う質問が出た。



アドバンスねやがわ2号館と3号館との連絡通路には階段があり、安全な往来には工夫が必要だ。